

勉強会？見学会？活動報告

作成：瀧口 邦夫 2010 年 11 月 17 日(水)

- ① 今月 1 日に東京で森林生態学の藤森隆郎氏の講義があり井伊さんと同伴。井伊さんは口座のスタッフ参加です。藤森先生の講義を 6 時間にわたり聞く機会は非常に少なく良い機会となりました。藤森氏の話から役立つ?コメントを拾いました。

- ・すぐれた技術とは、この行為が他にも良い影響を与えること。
- ・森林づくりを進める人は、森を見て過去と未来を読む力が必要。
- ・林業とは、自然を相手に知を働かす事
- ・健全な森林とは、森として枯れ木、倒木など多彩な生態を確認。
- ・生物多様性保全の意義

地球と生物の歴史の所産であるかけがいのない生物種を生物の 1 種である人間が簡単に絶滅させて良いかの?という生物学的倫理

ある生物種を失うことは人間の生活基盤である生態系の崩壊に連なるため、生物種の絶滅は防ぐべきである。

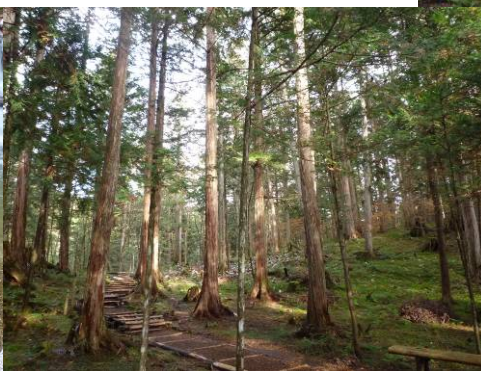
人間にとってどの遺伝子が将来役立つか不明である生物多様性の保全は重要である。

生物多様性は文化の根源として重要である。

- ② 大河内さんとの伊那方面勉強見学ツアー???で、山荘ミルクの奥さんから紹介で、長野県上松、赤沢自然休養林のガイド NPO 法人理事長案内で伊勢神宮備林《備蓄林》の見学を行った。



横井 剛氏の案内で、この写真は木の根の裏側です。倒木更新をした後、倒木が枯れると根と幹の間は?の疑問解消です。



来春に、奥の千本（一般公開に入っていない）の案内を快諾していただきました。伊勢神宮林の見学と来年度の楽しみが増えました。乞うご期待

